

新型コロナウイルスワクチンを接種された方へ

本院で新型コロナワクチンを接種された皆様にご理解・ご協力をいただきたいことを以下に記載しておりますので、お読みいただきますようお願いいたします。

ワクチン接種後の副反応について

ワクチン接種後に発熱、頭痛、接種部位の疼痛、関節痛などの症状が出る場合があります。

それらの症状は、一般的には経過観察もしくは症状に合わせたお薬（例：発熱、頭痛などに対する解熱・鎮痛薬）を使用しながら経過観察となります。接種後1～2日過ぎに起きることが多く大半は数日で消えます。



副反応を疑う症状が強く、病院の受診を希望される場合

症状が強い場合やお手持ちの薬を服用しても症状が中々改善しない場合には、まずは、身近な医療機関（「かかりつけ医」※1や「お近くの病院」）にご相談ください。診察の結果、さらなる診療が必要と判断された場合は、かかりつけ医等から、「専門的な医療機関（熊本大学病院）」※2へ診療を申し込むこととなります。

※1 かかりつけ医とは「風邪をひいた」「熱がある」「お腹の具合が悪い」など身体の不調を感じたときに受診する地域の病院・診療所のことです。

※2 本院は、熊本県における唯一の「専門的な医療機関」として、重篤な副反応の紹介患者様を専門的に診療する体制を整え対応しておりますので、まずはかかりつけ医等身近な医療機関での受診にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

<ワクチン接種後の受診のイメージ>

